

内服薬による『肝斑治療（かんぱん）』 始めました。

紫外線が強くお肌のトラブルも増えやすい時期がやってきました。聖隷淡路病院では、シミのある人の約4割の方に症状があると言われる肝斑（かんぱん）の治療を始めました。他のシミと混在することも多い肝斑だけに医師の診断を受けたうえで、的確な治療を行いましょ

肝斑（かんぱん）とは

肝斑は形状が肝臓に似ていることから肝斑という名がついたとされており、頬の高い位置や額などに左右対称に現れ、やや赤みを帯びた黄褐色をしているのが特徴です。主な原因は女性ホルモンの影響とされていますが、紫外線の影響もあるのではとされています。くすんでいて色が悪い、とっていたら実は肝斑だったということも少なくない様です。顔のほほの高い位置に現れ、目立つため人目も気になり、お化粧品などで隠すにしても一苦勞となる大変やっかいなシミと言えます。



肝斑は、30～40代のアジア人女性に多く見られ、左右対称に現れるのが特徴です。

治療内容・費用

皮膚科医師による診断を行った後、肝斑の内服薬を処方致します（トランサミン錠）。初診時の診察で肝斑と診断されるまでは保険診療扱いとなりますが、肝斑自体は病気ではないため、再診や投薬は保険が認められず自費扱いとなります。

肝斑治療に掛かる金額
[1カ月あたり（初診料・お薬代）]

約 5,000 円

皮膚科診療日

肝斑治療のご相談については、まずは下記日程で行っている皮膚科外来を受診してください。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
午前	○	○	○	—	○	△
午後	○	—	—	—	○	—

※土曜日の午前中は月2回の診察となります。ご来院の前に、お問い合わせください。

※受付時間 [午前 8:00～11:30、午後 13:30～16:30]

※診療時間 [午前 9:00～、午後 14:00～]



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

聖隷淡路病院